

3Dプレゼン拡張機能

トレーニングマニュアル 3 仮想敷地

+ 仮想敷地

Vol.1

仮想敷地機能とは、

初期プレゼン用の提案パースに臨場感が演出できる「仮想3D敷地と背景」を簡単にパースに反映出来る拡張機能です。

仮想3D敷地（16種類）と背景画像（93種類）の組み合わせパターンがご利用できます。

■画面説明

「完成図選択メニュー」に ①「仮想敷地 ON/OFF」切替えボタンが実装されました。

※仮想敷地機能の対象は、外観パース/構造パースです。

■アイコン説明

パース作成画面に ②「仮想敷地」アイコンが実装され、起動すると ③「仮想敷地ダイアログ」が開きます。



■仮想敷地ボタン ON

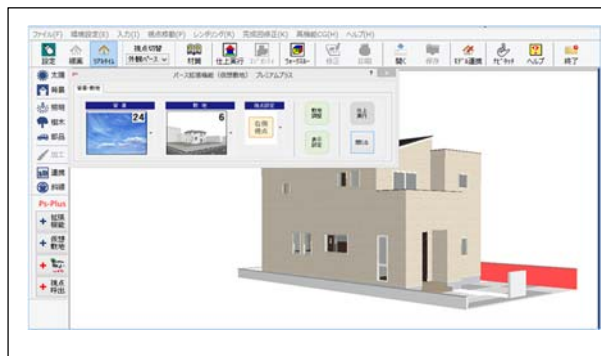
☒ 仮想敷地

パース作成画面起動時に仮想敷地機能ダイアログが表示されています。

■仮想敷地ボタン OFF

☐ 仮想敷地

通常のパース作成画面で起動します。





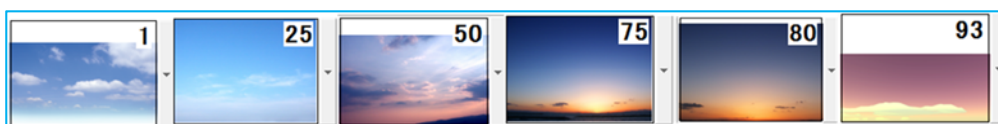
+ 仮想
敷地

仮想敷地と背景の選択画面



背景の選択（93種類）

快晴・夕焼け・夜景の背景画像を93種類実装。提案コンセプトに合わせた選択が可能です。



仮想敷地の選択（16種類）

臨場感が演出できる仮想の3D敷地を実装。



視点設定 玄関を基準にして右側・左側・正面の基本視点が設定できます。



敷地調整（赤枠ダイアログ）

1 敷地調整

仮想敷地の「移動」や「高さ調整」
「補助線」の入力が可能です。

敷地移動

- マウス指定で敷地の移動や回転テーブルで回転移動が行えます。
- 敷地高さの調整が可能です。
- 敷地移動用の基準となる補助線入力が可能です。

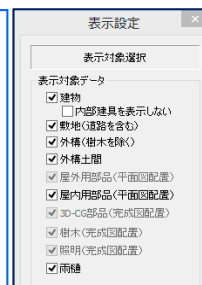


- ダイアログサイズの変更アイコン（大小）。
- 視点入力アイコン（任意視点）



表示設定 1

「仕上実行」後にパース作成画面
に表示する建物データの選択。



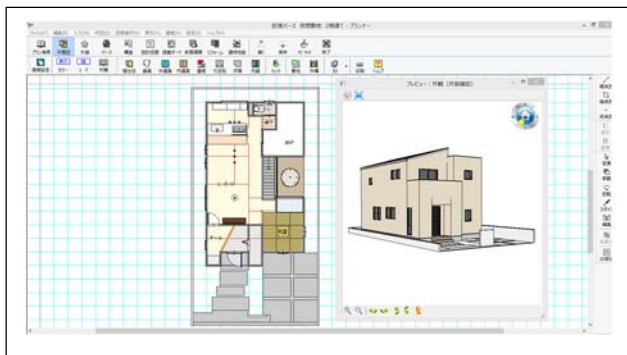


+ 仮想敷地

仮想敷地 操作手順

パースモード起動時に「仮想敷地ダイアログ」を同時起動した場合の操作手順

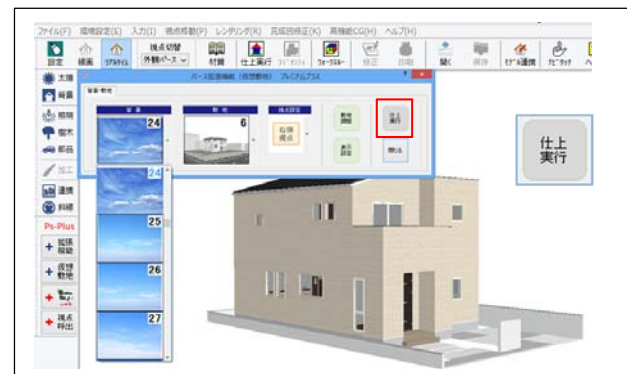
- 1 平面図からパースモードを起動します。



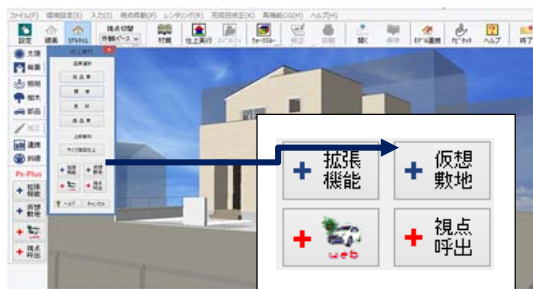
- 2 「仮想敷地」をONにして
外観パース（内観合成）を起動します。



- 3 「仮想敷地」ダイアログから「背景」「敷地」「視点」
を選択して「仕上実行」を押します。



- 4 配置イメージで良い場合は、レンダリングを
開始します。戻す場合は、仮想敷地アイコンを
押すとやり直しが行えます。



豊富なバリエーションパースを作成して初期プレゼンにご活用下さい。





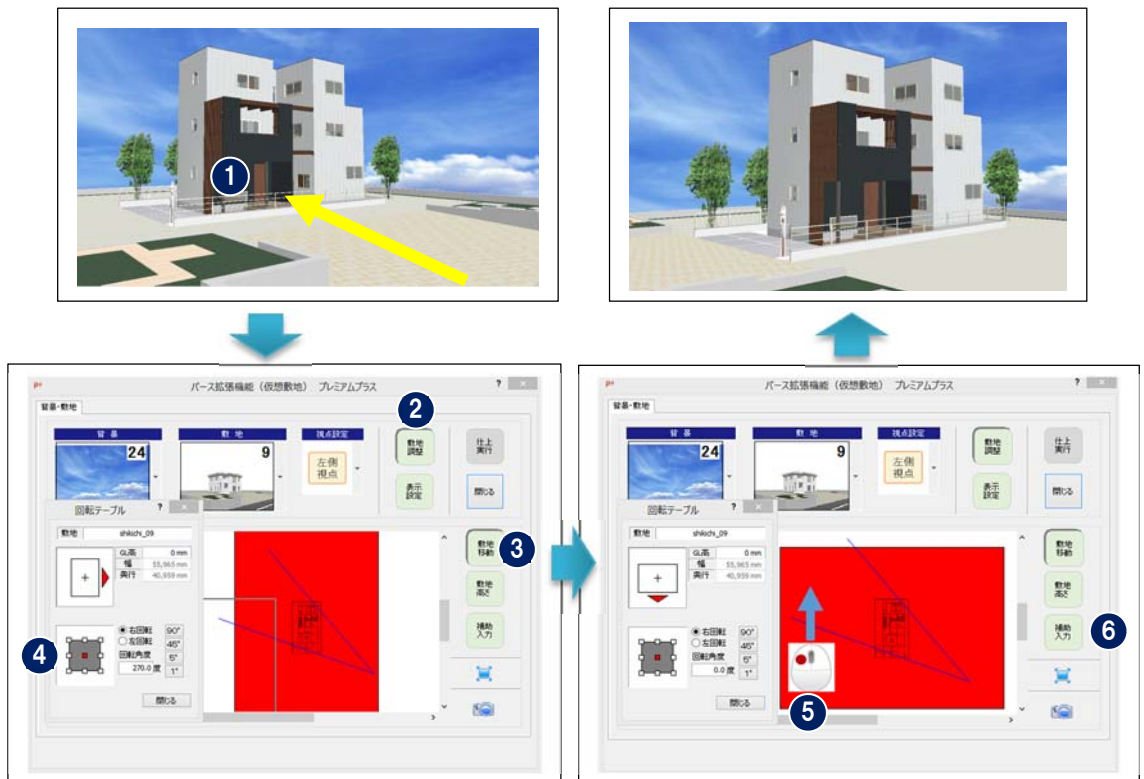
P-CATCH

仮想敷地機能（利用上の注意事項）

- 仮想敷地機能は、3Dプレゼン拡張機能のご利用メンバー様の限定機能です。
パースモード（外観パース：内観合成・外装のみ・構造パース）に実装されています。
- 仮想敷地の敷地面と敷地入力を行った敷地面が重なって表示される場合 ①は、敷地設定 ②から敷地高さ ③を選択して仮想敷地高さのレベル（-1）を下げる事により ⑤ 重なりが調整出来ます。



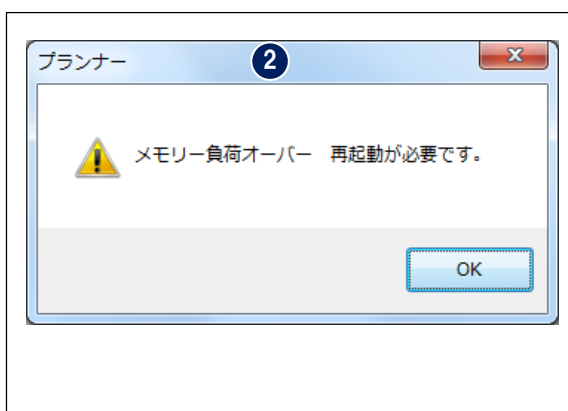
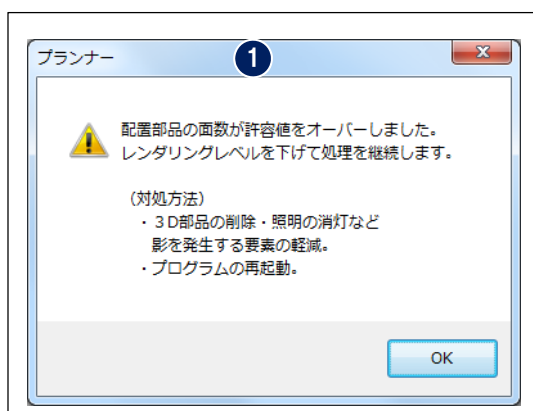
- 仮想敷地機能の視点焦点は、①玄関を基準焦点としています。建物と仮想敷地の位置調整は、②敷地調整から③敷地移動を行い④回転角を設定後に⑤マウス配置を行い再度「仕上実行」を行いながらパースを完成させていきます。（補助線⑥を入力して仮想敷地を配置する事も可能です。）



- プレミアム添景部品やアーキマスタ部品など建物データに配置された ①3Dデータは、数多く配置するとメモリー消費を招き処理スピードの鈍化やメモリー不足による障害が発生する場合があります。非表示で対処する場合は、② 表示設定から ③ 非表示データのチェックを外して ④ 作業を続けます。



- パースモードでレンダリング処置中に ①②のメッセージが出た場合は、メッセージ内に記載されている「対処方法」を行う様にしてください。



Premium Member Service

福井コンピューターシステム株式会社 セールス&サポート部 〒852-8065 住所:長崎市横尾 3-2-1
TEL:095-856-3115 Mail: sales@thesystem.co.jp